

【榎本館長からのメッセージ】

9月も終わりに近いというのに、湿度が高く、気温も30℃近くあり、夏のような日がまだまだ続く予感がしていました。今朝、公園を抜けると、どこからともなくキンモクセイの香りが…。我々が感じないどこかで、秋が動いているんですね。あと一週間もすれば夢の島公園内は秋色に染まっていくのかな。只今公園内は、オリンピック・パラリンピックの準備もあり、工事箇所が目立っていますが、まだまだ秋を感じられる場所もあります。ぜひ散策してみてください。小さい秋が見つかるかも♪

また、夢の島熱帯植物館では、「お化けカボチャ」を今年も数多く展示しております。10月に入ると、都民の日、オータムフェスタ と秋の催しが目白押し！是非イベントに合わせて！いや平日の少し空いているときにブラリ！どちらでも皆様 の過ごしやすいかたちで、夢の島をお楽しみ下さい。お待ちしております。
館長



季節イベントの紹介（イベント・展示担当：関）

今年もこの季節がやってきました。夢の島名物、おばけカボチャの展示がはじまりました。ハロウィンにちなんで、茨城県日立大宮市でつくられた巨大なおばけカボチャを 200 個以上展示して楽しい景色を作ります。自由に触れたり、カボチャたちと楽しんでください。企画展は「ハロウィン・パーティー」。パネル展示やフォトスポットでは仮装ができる衣装もご用意しています。仮装をしてのご来館もお待ちしております。今年もわくわくのハロウィンをお楽しみください。また、夢の島最大級のイベント「オータムフェスタ 2017」は 10/8、9 の開催です！奮ってご参加ください。

- 【10月の企画展】 「ハロウィン・パーティー」(9/20～10/29)
 - 関連イベント 「ハロウィンフラワーアレンジメント教室」(10/14、15)
 - 《季節イベント》 「都民の日イベント」(10/1)
 - (スペシャルコンサート・マジック&バルーンショー・スタチのつかみどり)
 - 「ウィークエンドコンサート」(10/7、21) 「森の学校」(10/7) 「ハーブの学校」(10/15)
- ★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館にお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介（植物館植栽担当：横平）

ハロウィンは、クリスマスイブのように、カトリック教の万聖節の前夜という言葉である“ハロウズ イブ(Hallows eve)”が語源となっています。このお祭は古代ケルトに起源していて、アメリカやイギリスなどの地域性にも深く関わっており、一概にカトリック教の行事とは言えないようです。現在の子どもたちが仮装をして、お菓子をせがむようになったのはアメリカからで、アイルランドでは今もなお古代の由緒ある方法で祝うそうです。

ハロウィンに欠かせない物と言えば、カボチャで作った提灯(ランタン)でしょう。実はスコットランドやアイルランドでの伝説ではカブで作っていましたが、アメリカに伝わった後にカボチャになったようです。

原産地はアメリカからメキシコといわれ、日本には天文年間(1532～1555)にポルトガルから豊後(大分県)に持ち込まれました。今、日本で栽培されているのは、主にニホンカボチャ、セイヨウカボチャ、ペポカボチャの3種です。そのうち、ペポカボチャ(Cucurbita pepo)の系統が飼料用として栽培されているオバケカボチャです。また金糸瓜(そうめんカボチャ)や最近普及してきたズッキーニもこの仲間です。



オバケカボチャ（ウリ科）



今月の花と実



▲マドレンシス ‘イエローマジスティ’



▲レウカンサ



▲ガラニチカ

♪ この時期の人気者 ♪
秋らしい景色といえば、ハーブ園周辺で見られる3種類のサルビアです。黄・紫・青色とりどりの花を咲かせています。池の中でもオオオニバスや、水カンナが咲き。北側通路ではパンパスグラスが風に揺れ、券売所裏では、ナタ豆が大きなサヤを实らせ、驚かせてくれます。かぼちゃ以外にも見所いっぱい!!

予告：次回は 10/25 の発行予定です。

【サービス券団体不可】
10/1～10/31
コトエー杯無料